

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
759	畜産振興事務事業		01	一般会計	
			06	農林業費	
43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す		01	農業費	
			08	畜産業費	
		伊賀支所産業建設課	101	畜産振興事務経費	
高島 幸生	連絡先	45-9119	01	畜産振興事務経費	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
・支所管内の畜産農家で組織された伊賀町和牛肥育部会 ・管内畜産農家		・肥育経営の合理化と家畜保健衛生環境が良好に保たれる。 ・優良素牛、種豚導入による伊賀肉のブランド化			
本年度 事業内容	・伊賀町和牛肥育部会として畜舎消毒、研修会、法要、各種イベント参加等 ・脳炎予防5種混合ワクチン注射、ヘモウィルスワクチン注射 ・優良素牛導入448頭				
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,769	1,966	1,966
補助金	1,766	1,915	1,915
その他	3	51	51
合計(A+B)	3,209	3,406	3,406
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,209	3,406	3,406
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
イベント参加回数	回	5	5	5			
脳炎予防ワクチン注射頭数	頭	351	360	380			
素牛導入数	頭	448	450	450			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
伊賀牛ブランド化に結びつくための飼養頭数	現在、畜産農家を取り巻く状況が厳しい中、伊賀肉ブランドの推進のため、飼養頭数を指標とする。	頭	1020 目標 ( )	1050	1100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

畜産農家を取り巻く環境は非常に厳しいものがあり、畜産農家の体力及び、伊賀肉のブランド化の強化が必要である。しかし、近年、和牛肥育部会補助金が年々減額されている現状である。伊賀牛、伊賀豚等の振興には、制度の継続が大切である。

評価	必要性	4	伊賀牛、伊賀肉のブランド化を推進するには、畜産環境の整備が最も大切である。そのため、家畜保健衛生対策及び伊賀町和牛肥育部会による畜舎の消毒等は欠かすことのできないものである。また、優良な素牛、種豚を導入し伊賀ブランドの価値を一層高めるため本制度は引き続き実施する考えです。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	3		
	効率性	3		